

# 令和5年（2023年）度行政評価シート

令和5年8月10日

評価者	健康福祉部長 藤林 聖治
-----	--------------

## ○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	4-(6) スポーツ・レクリエーション	施策の方針	4-(6)-①スポーツ・レクリエーションの推進
目標とするまちの姿	総合体育館やスポーツ広場の整備が進み、競技スポーツが活性化することで、市民のスポーツへの関心が高まっています。また、身近な場所で気軽にスポーツ・レクリエーションに取り組める場が整備され、市民の運動習慣が向上し、健康寿命が高まっています。			
主な取組	<p>(1)市民スポーツ・レクリエーションの推進 市民が身近な場所で気軽にスポーツイベントに参加することで、スポーツを習慣化するためのきっかけづくりの提供や情報提供などを行います。また、障害者スポーツの推進を図るとともに、自然とふれあいながら行うウォーキングやマリンスポーツなどの野外活動の普及・奨励に努めます。</p> <p>(2)スポーツ環境の整備 すべての市民が自ら生涯スポーツを継続できるよう、体力・健康づくり教室や運動・体力相談事業などのイベントや教室を開催し、気軽に楽しめる環境の整備を行います。 また、アマチュアスポーツや生涯スポーツの振興を支える団体を支援、育成するとともに、スポーツ活動を支援・指導する担い手を育成します。</p> <p>(3)競技スポーツの推進 市民が競技を行う上で目標となる市民大会等を開催する他、競技者の裾野を拡げるための教室を実施します。 また、ジュニア世代を対象にトップアスリートやその指導者から指導を受ける機会を提供することで、幼少期から競技スポーツへのきっかけづくりを支援します。</p> <p>(4)スポーツ施設の管理・整備 既存のスポーツ施設のバリアフリー化を行うとともに、市立小中学校の体育館・プールの開放など、市民が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しめる環境を整備します。 また、市民大会を円滑に開催することが可能な施設の整備を目指します。</p>			

## 1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

### 健康福祉部

実施計画事業に深沢地区でのスポーツ施設整備を位置付けるとともに施設の整備方針について方向付けを行い、スポーツ推進審議会への諮問を経て事業計画を確立する。  
また、新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、スポーツイベントの再開に取り組んでいく。

## 2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	313,851	298,626	273,075			
人件費	50,436	50,506	49,038			
総事業費	364,287	349,132	322,113	0	0	0

### 3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	健福-55	保健体育運営事業		8,995	8,896	17,891	現状維持	A	現状維持
	健福-56	各種スポーツ行事事業		13,086	12,044	25,130	現状維持	A	現状維持
	健福-57	学校体育施設開放事業		33,678	12,044	45,722	現状維持	A	現状維持
	健福-58	体育施設管理運営事業		217,316	16,054	233,370	現状維持	A	現状維持

### 4. 評価対象年度の主な実施内容

#### 健康福祉部

深沢地区でのスポーツ施設整備について実施計画事業に位置付けた。また、新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、ジュニアアスリート育成事業やマリンスポーツ体験事業など各種スポーツ行事等を行った。

#### ※実施できなかった事業とその理由

ねりんピックの開催や指定管理者選定等、大きなイベント等が重なり、年度内にスポーツ推進審議会の開催及び諮問を実施することができなかった。

### 5. 成果指標

成果指標①		1回30分以上、週1回以上運動している市民の割合					出典	市民アンケート調査		
	令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
初期値	44.4	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	%	
		実績値	未実施	47.8	47.7					
		達成率	—	79.7%	79.5%					

### 6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

#### 健康福祉部

これまで新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて多くのスポーツイベントが中止となり、また感染症対策と向き合う中で運動不足などが指摘されていたが、昨今の状況はようやく改善の兆しが見えてスポーツに接する機会が増えてきている。

市民アンケートの調査結果をみると、令和4年度の市民アンケートでは「1回30分以上、週1回以上運動している市民の割合」が目標値を下回っていることから、今後も引き続き気軽に参加できるスポーツイベントの開催や手近な場所でスポーツを行える環境の整備を行い、習慣的に運動を行う市民の割合の向上を目指す。

### 7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

#### ※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

#### 「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

#### 健康福祉部

鎌倉市民にとって身近な海でのスポーツ(マリンスポーツ)を体験したり、ウォーキングなど取組みやすいスポーツのイベント等を実施することで、スポーツを体験し習慣化することへの一助になった。また、ジュニア期からアスリートを目指すことを目的とした技術指導等の教室等を開催することで、競技スポーツへのきっかけづくりを行った。さらに、学校プールの開放や深沢多目的スポーツ広場の整備を行い、身近でスポーツを行える環境を整えた。

## 8. 今後の方向性

### 健康福祉部

新型コロナウイルス感染症を想定した新しい生活様式の中で、運動を習慣化するためのきっかけとなる情報の提供、イベントの開催、身近な場所で気軽にスポーツを楽しめる環境の整備等を行っていくことにより、市民の運動習慣が向上するよう努める。  
4年度に実施に至らなかったスポーツ施設の事業計画確定については、早期にスポーツ推進審議会への諮問を行う。

## 9. 今年度(評価年度)の目標

### 健康福祉部

深沢地区を含めたスポーツ施設の整備方針について方向付けを行い、スポーツ推進審議会への諮問を経て事業計画を確立する。  
また、コロナ禍前に実施していた行事を再開するとともに、湘南バルマーレとの包括連携協定に基づいた事業を実施する。